

急傾斜地崩壊防止・地すべり防止対策研修会  
プログラム（実務実践研修）  
—— 実務実践研修で実務経験をプラスする ——

※この研修会は全国測量設計業協会CPD認定講習会（10ポイント）です。

講師プロフィール

オオタ ヒデマサ

- 氏名 太田 英将
- 所属 有限会社 太田ジオリサーチ 代表取締役社長
- 資格 APECエンジニア、技術士（地質、土質及び基礎、森林土木）、コンクリート診断士、地すべり防止工事士他
- 経歴 ①宅地造成設計・施工講習会講師；（一財）全国建設研修センター  
②（社）土木学会；地盤工学委員会  
斜面工学研究小委員会委員（2003～2010年）  
③（社）土木学会；平成19年新潟県中越沖地震調査団、  
平成20年岩手・宮城内陸地震調査団他  
④近畿地方整備局長表彰、事務所長表彰  
⑤日経コンストラクション・・・考える力養成プロジェクト  
（ドボク塾）で好評

【1日目】 10：30～16：50 急傾斜地崩壊防止工法を主に

- 斜面安定問題の基礎 10：30～12：00
  - 斜面安定計算の基礎
  - 斜面安定計算基礎演習
  - 斜面安定問題は、斜面上の土のせん断破壊問題であり、基礎となる斜面安定計算を最初に行う  
（昼休憩） 12：00～13：00
- 概説 13：00～14：30
  - 急傾斜地崩壊防止対策事業の概要
  - 土砂災害防止法前と土砂災害防止法施行後の考え方の違い
  - 急傾斜地崩壊防止危険地区の範囲設定の考え方
  - 急傾斜対策の測量・調査の要点
  - 調査計画を立案するには、対策工を想定していないとできない（ボーリング調査位置含む）
- 対策工設計 14：45～15：45
  - 急傾斜地崩壊防止工法の種類（待ち受け対策と発生源対策）
  - 工法比較検討
  - 待ち受け、発生源（鉄筋補強土工）、安定勾配切土（掘削勾配と高さと土質）
- 演習 16：00～16：50
  - 急傾斜地崩壊防止工法の比較検討演習（数量算出方法も含む）

【2日目】 9：30～16：30 地すべり防止工法を主に

- 概説 9:30-12:00（途中15分休憩）
  - 地すべり防止事業の概要
  - 地すべりブロックの抽出方法（空中写真判読法、地表踏査）

(昼休憩)

12:00~13:00

**演習**

空中写真判読演習

地すべり災害復旧工事の盲点

13:00-13:45

(事故につながる災害復旧事例；末端部が摩擦の強いところに乗り上げ、そこを切土する場合、側部を切土する場合など)

地すべり安定計算 (2次元逆算法、3次元法)

**安定計算と対策工設計**

14:00-16:30 (途中15分休憩)

地すべり防止対策工法の種類 (地下水排除工・抑止杭工・アンカー工)

**演習**

空中写真判読したブロックの対策工設計 (設計時の制約事項；設計ルール)

比較検討演習